

地域政策課から、9月までの地域コミュニティ組織の活動状況や市の施策を紹介します。

下府中地区

7月18日～8月31日
夏休みラジオ体操

下府中まちづくり委員会の福祉健康分科会では、下府中コミュニティShin2と協力し、夏休み期間中7月18日～8月31日の間、下府中小学校にてラジオ体操を開催しました。

期間中は、毎朝6時30分のラジオ放送に合わせて実施され、子どもから大人まで多くの方々が参加しました。参加者数は過去最高の延べ2,639人に達し、世代を超えた交流の場になりました。



新玉地区

7月21日～8月31日
夏休みラジオ体操

新玉地区まちづくり委員会では、夏休み期間中の土・日・祝日を除いた日に「あつまれ 夏休み こどもふれあいラジオ体操」を開催しました。

ラジオ体操のほかに、リズム体操の先生をお手本にした「リズム体操」も行うなど、参加者は世代を超えた交流や健康づくりを楽しみました。

- ◆開催回数 28回（うち2回はリズム体操）
- ◆参加総数 1,715人（こども986人、大人729人）
- ◆1日平均 61人（こども35人、大人26人）



地域政策課から、9月までの地域コミュニティ組織の活動状況や市の施策を紹介します。

芦子地区

8月19日～ 夏休み企画

芦子地区まちづくり委員会のCグループでは、夏休み企画と題して、寺町公民館（8/19～8/21）及び荻窪公民館（8/26～8/28）を、地域のこどもたちの集いの場として開放しました。

用意されたeスポーツの太鼓の達人は、こどもたちに大人気でした。割り箸鉄砲や輪投げ、ボード・カードゲーム、ストラックアウトなどの遊具も用意され、6日間の合計で59名のこどもたちが参加してくれました。



早川地区

7月21日～8月31日 夏休みラジオ体操

早川地区まちづくり委員会の地域交流分科会では、夏休み期間中7月21日～27日、8月25日～31日の2週間で地域の健康づくりと多世代交流を目的としたラジオ体操を開催しました。

悪天候により実施日数は11日となりましたが、毎回平均25名のこどもが参加し、元気いっぱいに体を動かしました。また、参加賞として図書カードが配布され、こどもたちの喜ぶ姿が印象的でした。



地域政策課から、9月までの地域コミュニティ組織の活動状況や市の施策を紹介します。

酒匂・小八幡地区

8月22日 酒匂幼稚園防災教室

酒匂・小八幡地区まちづくり委員会の防災分科会では、酒匂幼稚園や消防団第17分団と連携して、園児・保護者向けの防災教室を開催しました。

炊き出し器「まかないくん」で作ったカレーライスの試食をはじめ、こども用防火服の着用や水消火器体験、消防車の展示・試乗、〇×クイズなど、防災について楽しく学びながら、まちづくり委員会の認知や地域住民との多世代交流を図りました。



緑地区

8月27日 交通安全・防犯講座

緑地区まちづくり委員会では、緑地区住民を対象とした交通安全・防犯講座を開催しました。

講師には現職の警察官を招き、前半は特殊詐欺の最新手口や対策等についての防犯のお話、後半は道路交通法の改正に伴う自転車の交通ルールに関する交通安全のお話をいただきました。

参加者から寄せられた質問や意見からは、防犯や交通安全に対する関心の高さがうかがえ、講座全体を通じて意識をさらに高めるきっかけとなりました。



地域政策課から、9月までの地域コミュニティ組織の活動状況や市の施策を紹介します。

新玉地区

8月29日 多世代間交流広場

新玉地区まちづくり委員会では、「声の万華鏡 虹」の協賛による多世代間交流広場「音読の会」を開催しました。

当日は、発声練習を兼ねたお口の体操からスタートし、絵本や紙芝居の読み聞かせ、民話の語り、落語など、声を生かした万華鏡ならではのメニューが盛りだくさんでした。また、地域の大先輩からの「知っていそうで知らない話」に思わず頷く人もいるなど、参加したこどもたちや地域の方々は楽しいひとときを過ごしました。



万年地区

8月30日 万年サマーフェスティバル

万年地区では、青年会連合が主催して青物町商店街で毎年夏の終わりにサマーフェスティバルを開催しています。

今年は、当初8月29日（土）の開催予定だったところ、悪天候のため30日（日）に順延されたにもかかわらず、万年地区内外から多くの来客が訪れ、通りは活気に満ちました。名物となっている抽選会も、特に大盛り上がりとなりました。



地域政策課から、9月までの地域コミュニティ組織の活動状況や市の施策を紹介します。

富水地区

9月18日 登下校見守りボランティア懇談会

富水地区まちづくり委員会の防犯分科会では、登下校見守りボランティア懇談会を開催し、スタッフを含め計25名が参加しました。

当日は、富水小学校教頭による児童への指導状況の説明、飯田岡駐在所巡査部長による見守り活動の留意事項等の講話の後、参加者から事前にいただいた各見守り箇所の交通状況や児童の様子についてのご意見をもとに活発な意見交換が行われました。



「農と食を介した多世代交流の場づくり キックオフイベント」を開催しました！



本市では、農園での農と食を介した体験を通じて、子育て世代をはじめとする多様な人々の新たな関わりを創出し、地域活動の裾野を広げていく取組「農と食を介した多世代交流の場づくり」を推進しています。9月5日(土)に小田原市役所の大会議室で開催したキックオフイベントには、こどもから大人まで総勢約60名の方にご参加いただきました。今回は、キックオフイベント当日の様子を紹介します。

【加藤市長・堀口代表あいさつ】

冒頭のあいさつでは、まず加藤市長が、この取組を進めるに至った経緯や思いなどについて語った後、一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパンの堀口代表からは、エディブル・スクールヤードの紹介に加え、農園を通じて地域コミュニティが育まれていくことの大きな可能性などについて語られました。





【映画鑑賞】

冒頭あいさつの後は、この取組を展開していくきっかけとなったエディブル・スクールヤードの創始者であるアリス・ウォータース氏の活動を迫ったドキュメンタリー映画「食べることは生きること〜アリス・ウォータースのおいしい革命〜」の鑑賞会を行いました。

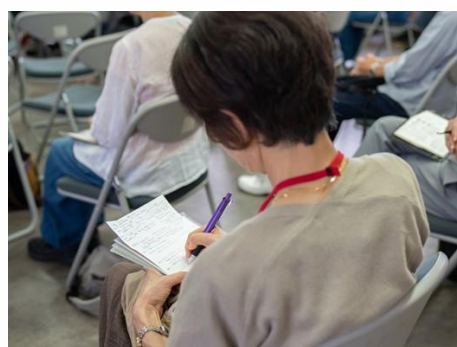


【トークセッション】

その後は、映画の余韻そのままに、加藤市長・堀口代表・太田農園の太田さんの3者によるトークセッションを行いました。

トークセッションでは、映画の感想に加え、小さな実践を積み重ねていくことの大切さや、関わりしるをつくり増やしていくための工夫などについて共有されました。

また、加藤市長から参加者へ、「この取組を進めるとともに、地域コミュニティの輪を広げていくにはどうしたらいいか」という問いが投げかけられ、参加者とともに深く考えるひとときとなりました。





【参加者間交流】

トークセッションの後は、1グループあたり5～6名のグループに分かれ、これまでの映画鑑賞やトークセッションも踏まえ、参加者間で思いなどを共有し合う交流会を行いました。初めて出会った参加者も多い中、終始和気あいあいと活発な意見交換が行われ、参加者間のつながりを深めていくとともに、最後は、グループで共有された意見の中から、いくつかの意見が発表されました。



放課後に緩く
誰でも来れる居場所
があったら嬉しい！

横のつながりを
大事にしていきたい！



農の場づくりが子育て
世帯の居場所にも
つながっていく！

市民・行政・企業・地
域が一つになって場を
作っていくことが大切！

【今後】

実際の畑をフィールドに、一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパンによる、大豆の収穫を通じた農と食の体験・交流イベントを開催します！こどもたちの学びや畑づくりの楽しさを体感できますので、ぜひご参加ください！

<今後のイベントスケジュール>

- 10月17日(土) “枝豆” 収穫体験・交流イベント
- 11月28日(土) “大豆” 収穫体験・交流イベント
- 12月20日(日) 報告会

イベントの詳細・
参加申込はこちらから

